

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

「消費税増税」の負担

棚倉町立棚倉中学校

3年 大平 桃子

最近よくニュースなどで耳にする「消費税増税」という言葉。この言葉を聞いて、人々はどう思うのだろうか。私は正直、税についてあまり知らず、考えることもなかった。唯一知っているのは消費税くらいだった。

私の家は自営業で、文具店を営んでいる。だから、少しは消費税について知っていたのだ。私が幼い頃、消しゴムのラベルには100円という印があるのに、お客様は105円払っているのを不思議に思っていた。不思議に思っただけで、特に深く考えることはなかった。私が小学校を卒業して春休みを迎えた、2014年3月。私の家は慌ただしかった。それは、4月から消費税が5パーセントから8パーセントに増税するからだ。うちの商品の値段は、バーコードの読み取りではない。全ての商品に5パーセントの税込の値段のシールが貼ってある。だから全ての商品のシールを剥がして、新しいシールを貼らなければならないのだ。その新しいシールだが、8パーセントの税込では、また手間がかかってしまう。というのも、2015年に10パーセントにまた引き上げと知らされていたからだ。だから、新しいシールは税抜の商品の値段を貼ることにした。私はシール貼りをしながら、5パーセントのままでいいじゃないか、と時より考えた。

そもそも消費税増税のメリットとは何だろうか。税は国にいくので国の予算が増える。社会保障制度が安定する。安定した税収を確保できる。公共事業に係る仕事が増える。そして、震災の被災地の早期復興にもつながる。しかし、やはりデメリットもある。人々だれもが思うだろう、国民の負担が増える。そのことによって国内の消費が減り、景気が悪くなる。そして国民の政府に対する不満が増え、失業者や自殺する人が増えるだろう。こ

う考えてみると、「消費税増税」は社会志向の人と個人志向の人によって考えが変わるのではないかと思う。社会志向の人にとっては、国の予算が増え社会保障制度が安定するならば「消費税増税」はしょうがないだろうと考えられる。しかし個人志向の人にとっては、商品を買うだけで自分に負担がかかるのは許せない、「消費税増税」はしない方がよいというように考えるだろう。私は、今後少子高齢化により高齢者が増え、その高齢者を私たち世代が支えていかなければならない。そのための負担が他の税ではなく消費税ならば、高齢者も含めた国民全体が広く負担できる。だから、これからの日本に「消費税増税」は大事だと思う。

「消費税増税」のデメリットである、国民の負担が増えるということをポジティブに考えてみただろうか。国民の負担が増えることは、その分国民の誰かの幸せが増えている。そんなふうに考えたら、8パーセントも10パーセントも心地よく払えるのではないだろうか。